

第49回「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクール

文部科学大臣賞 作品

文部科学大臣賞

2年自由図書部門／読んだ本・ウレウレはアマガエル

人げんとアマガエル

兵庫県神戸市立井吹西小学校 滝澤優乃介

「いたい！」アマガエル
をさわってあそんでいると、
目がとめていたくなった。三

十分くらい目を水であらい
ながして、やっといたみがお
さまってきた。なぜだろうと
思い、図かんでしらべてみた。

アマガエルのひふのねんえ
きによわいどくがあり、さわ
った後目をこすったりする
と、いたむことがあると書い
てあった。そこからアマガエ
ルをさわることがこわくな
った。もつとアマガエルのこ
とを知りたいと思い、この本
をえらんだ。

五月に田うえをしたとき、
アマガエルを見つけた。田ん
ぼがアマガエルの家なんだ
と知り、おどろいた。はじめ
てオタマジャクシをさわっ
たとき、ゼリーみたいにぶる
んとしていた。見つけたオタ

マジヤクシは、足がはえてい
たりはえていなかったり。足
の形はカエルと同じ。せい長

していくようすが、おもしろ
いなあと思った。たまごはま
だ見たことがないので、イネ
にくっついていないかどうか、
か、またさがしてみたい。

ぼくが一ばんびっくりし
たことは、アマガエルのさん
らんだ。なんと、三百から千
つぶものたまごをうむらし
い。ぼくのおかあさんは、ニ
かい出さんをして、ぼくとお
とうとを一人ずつうんだ。
人げんとカエルは、ぜんぜん
ちがっていておもしろい。

ぼくはアマガエルのなき
声もすきだ。オスが大きな声
でなくて、メスをよぶらしい。
メスがなくて、オスをよんで
もいいのになあと思った。な
きぶくろをふくらませてな

いているすがたを、いつか見
てみたい。

人げんとアマガエルでは、
すむばしよも、せい長のし方
もぜんぜんちがう。けれども、
一生けんめい生きていると
ころは同じだ。これからも、
アマガエルが元気に田んぼ
でくらせるように、おこめづ
くりをがんばりたい。

かわいいアマガエルと、ま
たあそびたくなってきた。つ
ぎはぜったいに目をこすら
ないぞ。